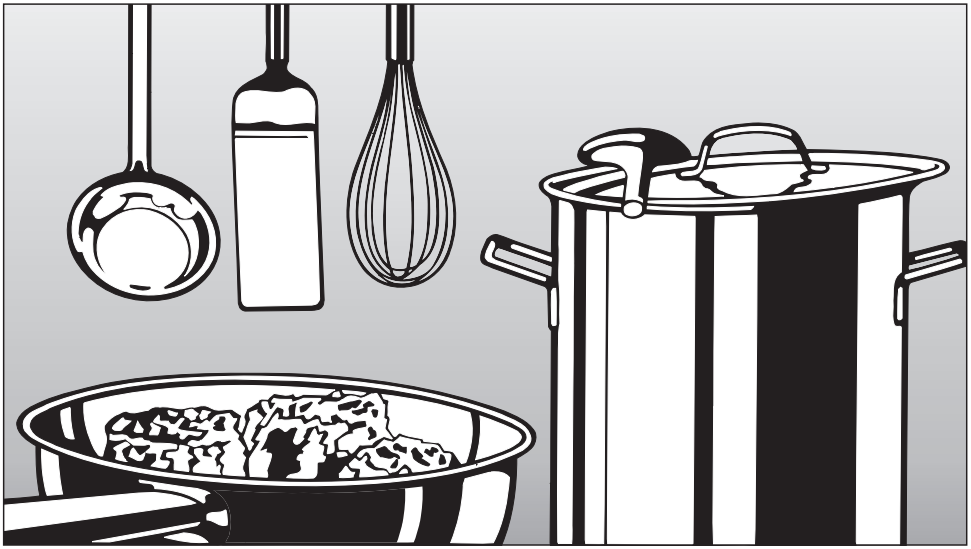
Miele

取扱説明書



電気クッカー
KM 6200
KM 6201

お客様の安全を確保し、機器の損傷を避けるため、本製品を初めてご使用になる前には、**必ず**この取扱説明書をお読みください。

ja - JP

M.-Nr. 09 235 750

目次

本製品の説明.....5
操作パネル.....7
調理ゾーン.....9

安全上のご注意.....10

環境保護のために.....17

初めてお使いになる前に.....18
初めてお使いのときのクリーニング.....18
初めてお使いになる前に.....18

調理ゾーンの機能.....19

操作.....20
操作方法.....20
電源を入れる.....21
設定.....23
自動加熱.....24
ダブルサークル / 拡張ゾーンの外側のサークル.....26
電源の切り方と余熱表示.....28

使用に適した鍋.....29

上手に節電するためのポイント.....30

タイマー.....31
キッチンタイマー.....32
調理ゾーンの電源を自動的に切る.....35
両方のタイマー機能を同時に使用する.....36

安全機能.....37
セーフティロック / システムロック.....37
Stop & Go 機能.....39
スイッチオフ機能.....40
過熱防止 / 鍋保護機能.....42

掃除とお手入れ.....43

目次

プログラミング 45

こんなとき、どうしたらいい？ 48

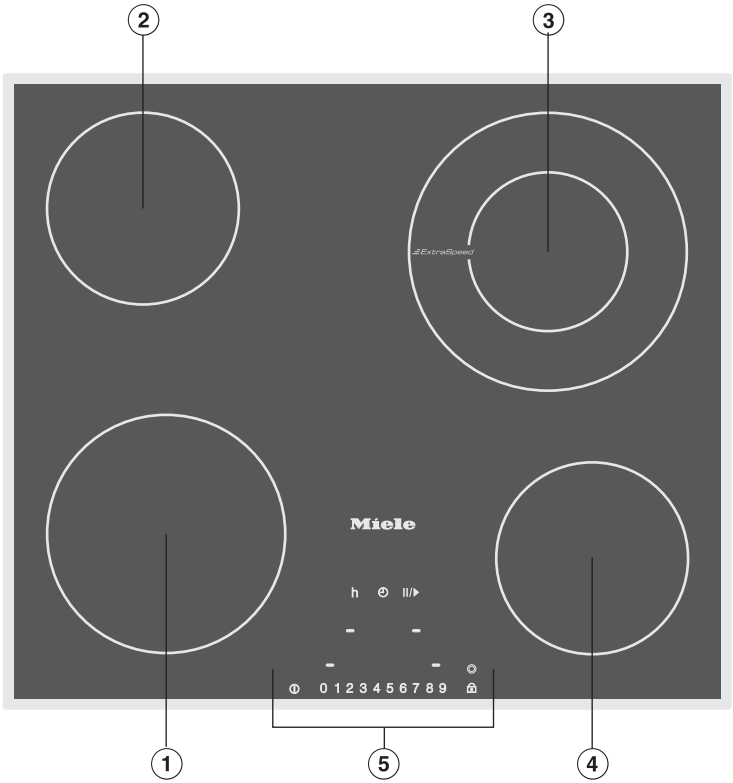
火力レベルをテストするには 52

オプションのアクセサリー品 54

電源接続 55

アフターサービス、型式表示シール 56

KM6200



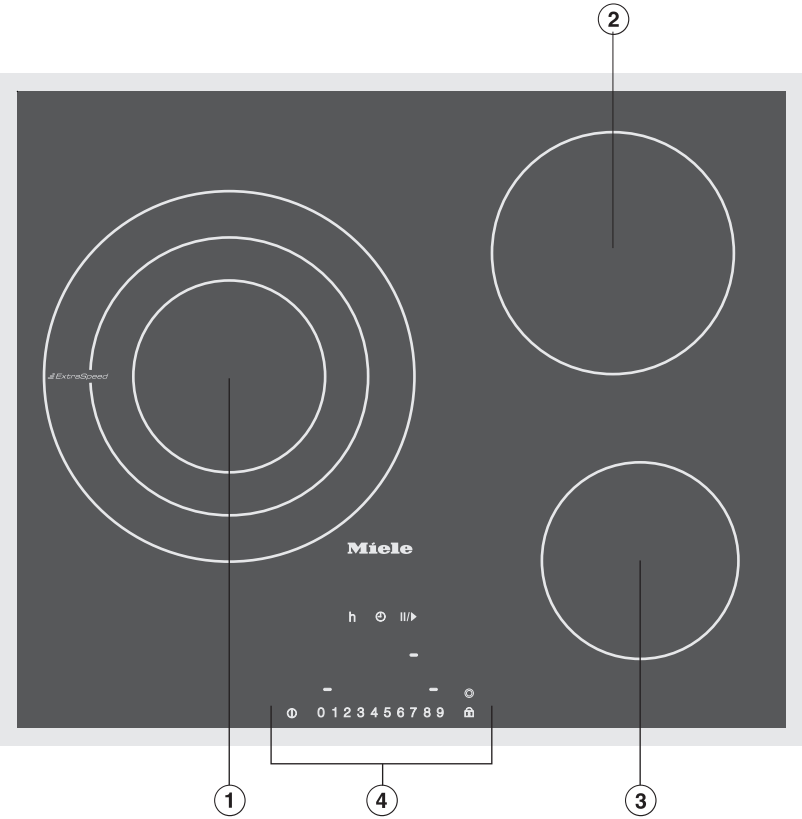
①②④ シングルサークルの調理ゾーン

③ ダブルサークルの高速調理ゾーン（エクストラスピード）

⑤ 操作パネル

本製品の説明

KM6201

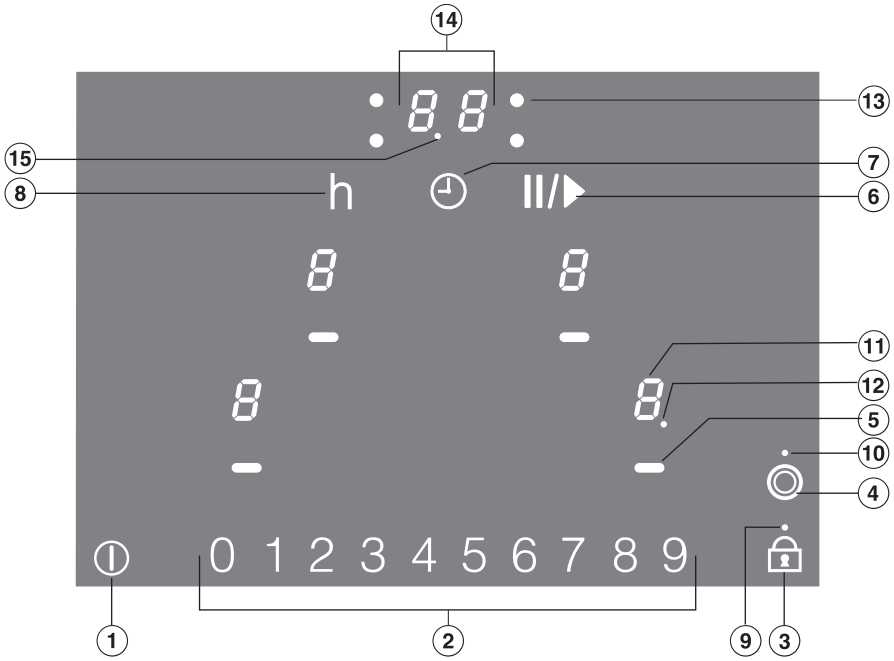


① トリプルサークルの高速調理ゾーン（エクストラスピード）

②③ シングルサークルの調理ゾーン

④ 操作パネル

操作パネル



本製品の説明

センサー

① 電源のオン / オフ

② 数字キーパッド
- 火力レベル設定用
- 時刻設定用

③ セーフティロック

④ 調理領域拡張の電源のオン

⑤ 調理ゾーンの選択

⑥ Stop & Go 機能

⑦
- タイマーの選択
- タイマー機能の切り替え
- スイッチを切る時間の選択（**「調理ゾーンの電源を自動的に切る」**を参照）

⑧ 時間機能

表示ランプ

⑨ セーフティロック

⑩ 調理領域拡張

調理ゾーン表示

⑪
- 0 = 調理ゾーン使用可能
- 1 ～9 = 火力レベル
- ≡ = 余熱
- A = 自動加熱

⑫ 自動加熱または火力拡張調節（**「プログラミング」**を参照）用の表示ランプ

タイマー表示

⑬ 右後方の調理ゾーンなど該当ゾーンの表示ランプ

⑭
- 00～99 = 分単位の時間
- 0.h～9h = 1 時間単位の時間
- PS = プログラミング（「プログラミング」を参照）
- LC = セーフティロック / システムロックが有効

⑮ キッチンタイマーを 99 分以上で設定するときに、分数を 0.5 時間単位で示す表示ランプ

調理ゾーン

調理ゾーン	KM 6200	
	Ø（cm）	200 V での消費電力（W）
	18.0	1700
	14.5	1000
	12.0 / 21.0	1000 / 2200
	14.5	1000
		合計 :5900

調理ゾーン	KM 6201	
	Ø（cm）	200 V での消費電力（W）
	14.5/21.0/28.0	900/1700/2600
	18.0	1700
	14.5	1000
		合計 :5300

安全上のご注意

表示	表示の意味
⚠ 警　告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注　意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が中程度の傷害を負う可能性、もしくは物的損害の発生が想定される内容を示します。

■ 重傷とは、失明、けが、やけど（高温、低温）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、及び治療に入院・長期の通院を要するものを言います。

■ 中程度の傷害とは、治療に入院・長期の通院を要しないけが、やけど、感電などをさし、物的損害とは、財産の破損及び機器の損傷にかかわる拡大損害をさします。

図記号の例	
	禁　止（してはいけないこと） 具体的な禁止内容は、図記号の中や文章で指示します。
	強　制（必ずすること） 具体的な強制内容は、図記号の中や文章で指示します。
	注　意（警告を含む） 具体的な注意内容は、図記号の中や文章で指示します。

ここに示した注意事項は、製品を安全にお使いいただき、お客様や他の人々への危害や損害を未然に防止するため、注意事項をマークで表示しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

禁止行為

分解禁止

水場、湿気の多い場所での使用禁止

接触禁止

強制／指示

電源接続に関する注意

必ずアース線を接続

潜在的な危険・警告・注意

感電注意

機器に損害を与える可能性のある場合

発火注意

高温注意

破裂注意

安全上のご注意

本製品は、現行の安全基準に適合しています。しかし、不適切な使用は、人体への危害および、物的損害の恐れがあります。本製品を初めてご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みください。お客様の安全を守り本製品の損傷も防ぐことができます。本取扱説明書は大切に保管し、製品を譲渡する場合は、必ず本書を添付してください。

⚠ 警　告

本製品は、地域および国のすべての安全要件に適合しています。ただし、正しくお使いにならなければ、人的傷害または物的損害を招く危険性があります。

事故や製品の損傷および故障を防ぐために、本製品を設置するときや初めてご使用になる前に、本書をよくお読みください。本書には、製品を正しく安全にお使いいただくための注意事項と、本製品の設置、操作、お手入れに関する重要な情報が記載されています。

本書は大切に保管し、本製品を譲渡する場合は必ず本書を添付してください。

正しい用途

本製品は、業務用ではありません。ご家庭での使用、またはそれに類似する以下の職場や居住環境での使用を想定しています。

－店舗
－オフィス、ショールーム、および以下のような建物の入居者
－ホステル、民宿

本製品は家庭での食品の調理および保温を目的としています。
その他の用途で使用した場合の製造者責任は負いかねます。用途を誤ると、事故や損傷を招く危険性があります。不適切な用途または操作による損傷や故障は、保証対象外となり、このために生じる被害や損害の製造者責任は負いません。

⚠ 警　告

本製品は、屋外での使用を目的としていません。

8 歳以上のお子様および身体的、知覚的、精神的機能または経験や知識が十分でない方は、本製品を監督のもとで使用するか、または安全な使用方法の指導を受けて使用上の危険性を理解している場合にのみ使うことができます。

お子様の安全

お子様が誤って本製品の電源を入れてしまわないように、セーフティロックを有効にしておいてください。

本製品はおもちゃではありません。ケガをさせないために、本製品または操作パネルでお子様を遊ばせないでください。

目を離さずに監督できる場合以外は、8歳未満のお子様を本製品に近づかせないでください。

8 歳以上のお子様は、安全な使用方法の指導を受け、使用上の危険性を理解している場合に限り、本製品を使用できます。

本製品および本製品の接触可能部分は、使用中はもちろんのこと、電源を切った後もしばらくは高温の状態が続きます。本製品が冷めてやけどの危険がなくなるまでは、お子様が本製品に近づかないように注意してください。

安全上のご注意

⚠ 警　告

お子様の興味を引きそうなものを本製品付近の収納に保管しないでください。
お子様が本製品の上に登ってやけどをする恐れがあります。

鍋は必ずお子様の手の届かない場所に保管してください。鍋の取っ手の部分は、クッカーからはみ出さないように内側に向けてください。
やけどの恐れがあります。

ラップ、ポリスチレン、ビニール袋などの包装は、乳幼児の手の届かない場所に保管してください。窒息する恐れがあります。梱包材は、できるだけ早く安全に廃棄するか、リサイクルしてください。

⚠ 警　告

技術的安全性

本製品を設置する前に、損傷がないかをチェックしてください。損傷の見られる電気クッカーは設置、使用をしないでください。損傷の見られる製品の使用は、事故や損傷を招く危険性があります。

本製品が正しく接地されている場合のみ、本製品の電気的安全性が保証されます。この基本的な安全要件を満たし、定期的なテストを行う必要があります。何か問題がありそうな場合は、資格を有する電気技師に家屋内の電気配線の検査を依頼する必要があります。不適切な接地工事による問題（感電事故など）は、保証対象外となり、このために生じる被害や損害の製造者責任は負いません。

本製品の電源プラグをコンセントに差し込む前に、ご使用の電圧および周波数が型式表示シールに記載された仕様に適合しているか確認してください。
本製品の損傷を防ぐため、この仕様を満たしている必要があります。不明点がある場合は、資格を有する電気技師にご相談ください。

安全性を確保するため、電気工事がすべて正しく行われている場合にのみ本製品を使用してください。

⚠ 警　告

本製品のキャビネットを開けないでください。
配線、電気部品、または機械的部品の改造や修理はきわめて危険であり、人的傷害または機械的損害や故障を招く恐れがあります。

設置、メンテナンス、および修理は、必ずお住まいの地域および国の電気設備基準に厳密に従って、適任な有資格者が行う必要があります。
無資格者による修理などは危険です。正規の修理技術者以外による作業によって生じた損害は、保証対象外となります。

本製品の設置や修理、点検に際しては、必ず電源が完全に遮断されていることを確認してください。

本製品に通信モジュールが装備されている場合、本製品の設置やメンテナンス、修理の際には、本製品の電源を遮断するのはもちろんのこと、通信モジュールの電源も遮断してください。
本製品の設置やメンテナンス、修理作業が完了するまでは、本製品または通信モジュールに給電しないようにしてください。

本製品が保証期間中の場合、ミーレの認定を受けたサービス技術者が修理を行う必要があります。それ以外の人物が修理を行った場合、保証が無効になります。

⚠ 警　告

問題のある部品を交換する場合は、ミーレ製の純正部品のみを使用してください。ミーレ製の交換部品が使用されている場合のみ、製造元により本製品の安全が保証されます。

電源コードが損傷した場合は、資格を有する電気技師が専用接続ケーブルと交換する必要があります。この接続ケーブルはミーレ代理店または販売店でご購入いただけます。

本製品は外付けのタイマースイッチや遠隔操作システムを使用することを想定していません。

延長コードやマルチソケットアダプターを使用したたこ足配線で電源に接続することはお止めください。
これらを使用すると過熱などの恐れがあり、危険です。

製品に問題がある場合、または、セラミックガラスの表面にひび割れや欠け、破損がある場合は使用しないでください。
すぐに電源をオフにして、製品を主電源から外してください。感電事故の恐れがあります。

害虫が発生しやすい地域でご使用になる場合は、本機とその周辺を常に清潔な状態に保つように特に注意することが必要です。害虫による損傷は、本製品の保証対象外となります。

安全上のご注意

⚠ 警　告

正しい使用方法

本製品は、使用中はもちろんのこと、電源を切った後もしばらくは高温の状態が続きます。余熱表示ランプが消えるまでは、やけどの恐れがあります。

使用中は、本製品から離れないでください。
鍋が空になるまで加熱すると、セラミックガラスの表面に損傷が生じる可能性がありますが、この場合、ミーレは責任を負いかねます。
脂や油を沸騰させると発火したり火災が発生する恐れがあります。

油や脂肪が発火した場合は、水で炎を消そうとしないでください。適切な防火毛布、鍋ぶた、湿ったタオル、または同様のものを使用し、炎を覆って消火してください。

本製品を暖房目的で使用しないでください。高い輻射熱によって本製品付近にあるものが発火することがあります。また、製品寿命が短くなる可能性があります。

運転時間、高い火力レベル、大きな鍋の使用、使用する調理ゾーンの数などの影響により、操作パネルおよび本製品のフレームまたは縁（斜めの縁がある本体の場合）が熱くなることがあります。

⚠ 警　告

本製品をご使用になるときは、耐熱性の鍋つかみや手袋を使用してください。鍋つかみや手袋は、湿った状態や濡れた状態で使用しないでください。熱が伝わりやすくなるため、やけどをする恐れがあります。

レンジフードの下でフランベは行わないでください。炎がレンジフードに引火する恐れがあります。

本製品を他のものを置く台として使用しないでください。故意に、または誤って本体の電源を入れた場合や余熱があるときは、金属部分が加熱する危険があり、やけどの恐れがあります。
材質によっては、本製品上に置かれたものが溶け出したり発火する可能性があります。
濡れた鍋ぶたは、セラミックガラスの表面に接着して取り外しにくくなる場合があります。
使用後は、調理ゾーンの電源を切ります。

カバー、布、または保護フィルムなどで本製品を覆わないでください。誤って本体の電源を入れてしまった場合や、本体がまだ冷めていなかった場合、火災の原因となる恐れがあります。

⚠ 警　告

プラスチックやアルミホイル製の容器を使用しないでください。
このような容器は高温になると溶け出し、発火する恐れがあります。

本製品で、缶詰を密閉したまま加熱しないでください。缶の中の圧力が高まって破裂します。
それによって負傷ややけどを負ったり、損傷したりする恐れがあります。

本製品では、鉄鍋などの、ふちや底に凹凸のついた鍋は使用しないでください。本体の表面に取れない傷が付く可能性があります。

アルミニウム製の鍋や底がアルミニウムでできている鍋を使用すると、セラミックガラスの表面に金属痕が付く可能性があります。金属痕は、セラミックガラスの表面用クリーナーを使用して取り除くことができます（**「掃除とお手入れ」**を参照）。

空の鍋を加熱しないでください。本製品が損傷する恐れがあります。

本製品を清潔な状態に保ってください。塩、砂糖、砂（洗う前の野菜に付着した）の粒子により、傷が付く可能性があります。

⚠ 警　告

操作パネル付近には、加熱した鍋を置かないでください。下部の電子装置が損傷を受ける恐れがあります。

セラミックガラスの表面には物を落とさないようにしてください。軽いものでも場合によっては損傷の原因となる可能性があります。

こぼれたものの焦げ付きを避けるには、できるだけ早く拭き取って、鍋の底がきれいで油脂が付着していないことを確認してください。

調理ゾーンが熱くなっているときに、調理ゾーンに固体または液体の砂糖や、プラスチック製またはアルミニウム製のホイルを落とさないでください。落としてしまった場合は本体の電源を切って、まだ熱いうちに傷の付かないスクレーパーで注意して砂糖、プラスチック、またはアルミニウムの残留物をすべてこすり落とします。
やけどをしないように注意してください。
残留物が取り除く前に冷めてしまった場合、セラミックガラスの表面に穴が開いたりひびが入ってしまう恐れがあります。
残留物を取り除き、本体が冷めてから全体的に掃除してください。

安全上のご注意

⚠ 警　告

本製品の近くでハンドブレンダーなどの電気器具を使用する場合は、電気器具のケーブルが高温状態の本体に触れないように注意してください。ケーブルの断熱材が損傷し、感電事故が発生する危険性があります。感電事故の恐れがあります。

スプレー缶、エアゾール、およびその他の引火性物質を、本製品の下の引き出しに保管しないでください。カトラリーを入れる引き出しには、耐熱性のある材質を使用してください。

調理したり温め直したりする場合は、食品を十分に加熱してください。食品の中には、高温で十分な時間をかけて加熱しなければ死滅しない細菌が含まれているものもあります。
そのため、鶏肉などの食品を調理したり温め直す場合は、食品に完全に火が通ることが特に重要です。不確かな場合は、調理や温め直す時間を長めに設定してください。

本製品を扉付きのキッチン家具の中に設置する場合は、必ず家具の扉を開けた状態で使用してください。
本製品の使用中、または本製品に余熱が残っている間は、扉を閉めないでください。

安全上の注意を無視したために生じた被害や損害の製造者責任は負いかねます。

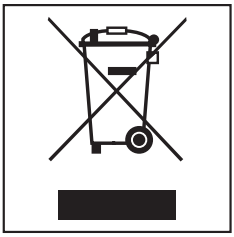
梱包材の廃棄処分

輸送時の保護用の詰物には、廃棄する際に環境への影響が少ない材質が使用されています。これらはリサイクルしてください。

プラスチックの包装や袋は確実に安全に処分し、乳幼児に近づけないでください。窒息する恐れがあります。

使用済み製品の廃棄処分

電気および電子機器の中には、取り扱いや廃棄方法を誤ると、人体や環境に悪影響を及ぼす恐れのある物質が含まれていることがあります。
ただし、このような物質は製品が正常に機能するために不可欠なものです。
したがって、不要になった製品は家庭ゴミとしては出さないでください。



不要になった機器を廃棄する際には、お住まいの自治体の指定する廃棄物処理施設に廃棄を依頼するか、弊社代理店のアドバイスを受けてください。処分するまでの間、ご自宅で保管するときは、お子様に危険が及ばないように正しく管理してください。

初めてお使いになる前に

本製品に同梱されている予備の型式表示シールを、本書の**「アフターサービス、型式表示シール」**のページに貼り付けてください。

初めてお使いのときのクリーニング

- 保護材やラベルなどをすべて取り外してください。
- 初めて使用する前に、湿らせた布で本体を拭いてから、乾いた布で水気を拭き取ります。

初めてお使いになる前に

縁が斜めになったガラスでできているクッカーは、設置してから数日間クッカー本体と天板の間に小さな隙間が見える場合があります。この隙間は本製品の使用に伴って時間とともに減少し、本製品の電気系統についての安全性には影響ありません。

金属部品には保護被膜があり、最初に加熱したときに多少臭う場合があります。

発生する臭いや蒸気などは、接続不良や本製品の不具合ではなく、健康を害するものではありません。

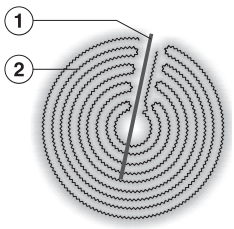
シングルサークルの調理ゾーンにはヒーターが 1 つ付いています。またダブルサークルゾーンにはヒーターが 2 つ付いています。型式によって、ヒーターは遮断リングによって区切られています。

各調理ゾーンには過熱防止機能があり、セラミックガラスの表面が高温になり過ぎるのを防ぎます（**「過熱防止機能」**を参照）。

火力レベルを選択すると、ヒーターの電源がオンになり、セラミックガラスの表面を通してヒーターを見ることができます。

調理ゾーンの温度は、選択した火力レベルによって決まり、電気制御されています。これにより調理ゾーンのヒーター電源をコントロールしオンまたはオフに切り替えます。

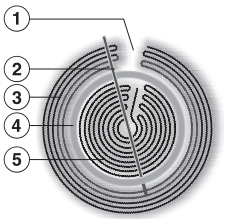
シングルサークルゾーン



① 過熱防止機能

② ヒーター

ダブルサークルゾーン



① 設計上の隙間

② 過熱防止機能

③ 外側のヒーター

④ 遮断リング

⑤ 内側のヒーター

操作

操作方法

本体には、指で接触すると反応する電子センサーコントロールが備わっています。

本体を操作するには、該当するセンサーを押します。センサーを押すたびに音が鳴ります。

火力レベルまたは時間の設定や変更には、調理ゾーンとタイマーを有効にしなければなりません。
調理ゾーンまたはタイマーを有効にするには、センサーを押して該当する調理ゾーンまたはタイマーを選択します。センサーを押すと、該当する調理ゾーンまたはタイマーの表示が点滅を始めます。表示が点滅している間、調理ゾーンまたはタイマーは有効な状態になり、火力レベルや時間を設定することができます。

例外：

調理ゾーンを 1 つだけ稼動中の場合、調理ゾーンを選択せずに火力レベルを変更することができます。

操作パネルを清潔に保つように注意し、上にものを置いたりしないでください。センサーが正常に反応しなかったり、センサーがものや汚れを操作指示と誤って感知したりすることで、なんらかの機能が有効になったり、本体の電源が自動的にオフになることがあります（「スイッチオフ機能」を参照）。
センサーの上に熱い鍋を置かないようにしてください。下部の電子装置が損傷を受ける恐れがあります。

電源を入れる

調理ゾーンを使用する前に、本体の電源を入れておく必要があります。

使用中は、本製品から離れないでください。

本体の電源をオンにするには、以下の操作を行います。

■ ⏻ センサーを押します。

調理ゾーンの表示が 0 になります。そのまま何もしないと、安全のため数秒後に本体の電源がオフになります。

調理ゾーンの有効化

■ 使用する調理ゾーンを選択するためのセンサーを押します。

調理ゾーンの表示で 0 が点滅します。

火力レベルの設定

標準の火力レベル範囲

■ 数字キーパッド上の、使用する数字を押します。

選択された火力レベルは表示内で数秒間点滅し、その後点灯した状態になります。

拡張火力レベル範囲
（「**火力レベルの範囲**」を参照）

■ 2 つの数字の中間部分を押します。

選択された火力レベルは表示内で数秒間点滅し、その後点灯した状態になります。中間設定を行うと、数字の隣にランプが点灯します。

操作

火力レベルの変更

■ 使用する調理ゾーンを選択するためのセンサーを押します。

調理ゾーン表示に火力レベルが点滅します。

■ 使用する火力レベルを設定するには、数字キーパッド上の該当する数字を押します。

調理ゾーンを 1 つだけ稼動中の場合、調理ゾーンを選択せずに火力レベルを変更することができます。

設定

出荷時、本製品には 9 つの火力レベルが標準でプログラムされています。設定を微調整したいときは、火力レベルの範囲を拡張することができます（**「プログラミング」**を参照）。中間設定を行うと、数字の隣にランプが点灯します。

調理方法	**設定 ***	
	標準の工場出荷時設定（9 段階の火力レベル）	**拡張設定（17 段階の火力レベル）**
バターやチョコレートなどを溶かす ゼラチンを溶かす ヨーグルトを作る	1 - 2	1 - 2.
卵の黄身やバターを含むソースを煮詰める 少量の食べ物や汁ものを温める くっつきやすいものを保温する 米を炊く	1 - 3	1 - 3.
汁ものや加工食品を温める オランデースなどのソースを濃厚に仕込む おかゆを作る 卵焼きや焦げ目の少ない目玉焼きを作る 果物を蒸す	2 - 4	2 - 4.
冷凍食品を解凍する 野菜や魚を蒸す 団子、ポテト、豆類を調理する ブイヨンや豆スープを作る	3 - 5	3 - 5.
大量の食品を煮立てる	5	5.
肉（脂分を熱し過ぎないで）、魚、野菜、目玉焼きなどを油で炒めた後、ゆっくり煮込む	6 - 7	6 - 7.
パンケーキなどを焼く	7 - 8	7 - 8.
大量の湯を沸かす 沸騰させる	8 - 9**	8. - 9**

* 上記の設定は、約 4 人前の目安と考えてください。深鍋を使う場合、量が多い場合、ふたをしない場合などは、レベルを高めに設定する必要があります。少量の場合は低めに設定してください。

** 高速調理ゾーン（エクストラスピード）は、火力レベル 9 以上の超高出力で加熱されます。

操作

自動加熱

自動加熱がオンになると、調理ゾーンは自動的に最も高い火力設定でスイッチがオンになり、その後選択した連続調理火力レベルに切り替わります。加熱時間は選択した連続調理火力レベルにより異なります（表を参照）。

揚げ物などで使用することが多い高火力レベルの連続調理設定は始めに鍋を温めるための加熱が比較的短期間で済みます。

自動加熱の有効化

■ 使用する調理ゾーンを選択するためのセンサーを押します。

調理ゾーン表示ランプが点滅します。

■ 連続調理火力レベルに設定する数字を押します。アラームが鳴り、連続調理火力レベルの右側にある表示ランプが点灯します。

自動加熱時間が終了すると、連続調理火力レベルの右側にある表示ランプが消えます。

拡張火力レベル範囲（**「プログラミング」**を参照）においての加熱時間中は連続調理火力レベルと交互に A が点滅します。

連続調理火力レベルを変更すると、自動加熱が無効になります。

自動加熱の無効化

自動加熱時間が終わる前に、自動加熱をオフにすることができます。

■ 使用する調理ゾーンを選択するためのセンサーを押します。

調理ゾーンの表示ランプが点滅します。

■ 表示ランプまたは A が消えるまで、選択されている連続調理火力レベルを押すか、異なる火力レベルを設定します。

連続調理火力レベル	加熱時間 （およその目安）[分 : 秒]
1	1 : 20
1.	2 : 00
2	2 : 45
2.	3 : 25
3	4 : 05
3.	4 : 45
4	5 : 30
4.	6 : 10
5	6 : 50
5.	7 : 10
6	1 : 20
6.	2 : 00
7	2 : 45
7.	2 : 45
8	2 : 45
8.	2 : 45
9	-

* 数字の後ろに点がある連続調理火力レベルは、火力レベルの範囲が拡張した場合のみ利用可能です（「プログラミング」を参照）。

ダブルサークル / 拡張ゾーンの外側のサークル

2 サークル、3 サークル（形式による）、および高速調理ゾーン（エクストラスピード）の電源を入れると、2 つ目の加熱サークルが自動的にオンになります。3 サークルゾーンの外側のサークルは、手動でオンにする必要があります。

ただし、この工場出荷時の設定は変更できます（**「プログラミング」**を参照）。

調理ゾーン表示部で火力レベルが点滅し、表示ランプが点灯していると、そのゾーンが有効になっているということです。火力レベルの点滅が消えると、表示ランプも消えます。3 サークルゾーンが装備されている場合（型式により異なる）、2 つ目のヒーターと 3 つ目のヒーターの表示は同じです。

手動で電源を入れる

- 使用する調理ゾーンを選択するためのセンサーを押します。
- 使用する火力レベルを選択します。
- 火力レベルが点滅する間、◎ センサーを押します。

拡張した調理領域の電源を切る

■ 使用する調理ゾーンを選択するためのセンサーを押します。

調理ゾーン表示部に火力レベルが点滅し、拡張した調理領域の表示ランプが点灯します。

■ 表示ランプが消えるまで、◎ センサーを繰り返し押します。

操作

電源の切り方と余熱表示

調理ゾーンのスイッチを切る

■ センサーを2回押して、スイッチを切りたい調理ゾーンを選択します。

調理ゾーン表示部に 0 が数秒間点滅します。その調理ゾーンがまだ熱い場合、余熱表示が表示部に示されます。

本体の電源を切る

■ ⏻ センサーを押します。

すべての調理ゾーンの電源が切られます。まだ熱い調理ゾーン表示部には余熱表示ランプが表示されます。

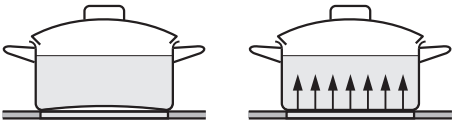
余熱表示ランプ

余熱表示ランプの 3 本のラインは、調理ゾーンが冷めるにつれて 1 本ずつ消灯します。最後の水平ラインは、調理ゾーンを触っても安全な状態になってから消灯します。

余熱表示ランプが点灯している間は調理ゾーンに触ったり、熱に弱いものを置かないでください。
やけどや発火の恐れがあります。

停電が発生した場合、余熱表示は点滅します。

– **最適な鍋**
電気クッカーでの使用に適した鍋は、底に厚みがあり、冷めている状態で底がかすかにへこんでいる鍋です。加熱すると鍋底は平らになってセラミックガラスの表面にぴったりとおさまるようになり、熱伝導が最適になります。



冷却時　　加熱時

– **あまり適していない鍋**
ガラス、セラミック、またはストーンウェア製の鍋は、熱伝導性が低いためあまり適していません。

– **使用に向かない鍋**
プラスチックやアルミホイルでできた皿や容器は、高温になると溶け出すため使用しないでください。

– アルミニウム製の鍋や底がアルミニウムでできている鍋を使用すると、セラミックガラスの表面に金属痕が付く可能性があります。金属痕は、セラミックガラスの表面用クリーナーを使用して取り除くことができます（**「掃除とお手入れ」**を参照）。

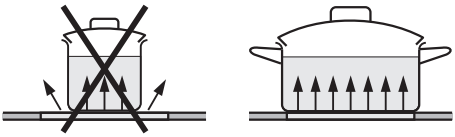
– 本製品では、鉄鍋などの、ふちや底に凹凸のついた鍋は使用しないでください。
本体の表面に取れない傷が付く可能性があります。

– 鍋は持ち上げてクッカー上に置いてください。鍋を引きずると、傷が付く恐れがあります。

– 鍋の製造者が表示する最大径は、鍋の上部の直径を示すことが多いので注意してください。鍋の底の直径（通常、上部より小さい）の方が重要です。

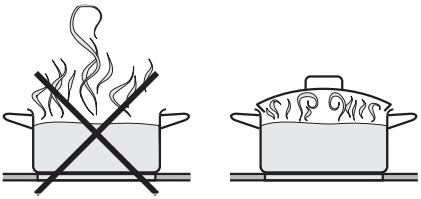
上手に節電するためのポイント

– 熱が不必要にうばわれないように、鍋底の大きさは調理ゾーンと同じか少し大きめであることをお確かめください。



小さすぎる　　適切

– 鍋にふたをすると熱がうばわれるのを防ぐことができます。



ふたなし　　ふたつき

– 少量の調理には小さい鍋を使用してください。小さい鍋を小さい調理ゾーンで使用すると、少量を大きな鍋に入れて大きい調理ゾーンで使用するよりも消費電力を抑えることができます。

– 調理に使用する水はできるだけ少なくしてください。

– 食品が沸騰した後、または鍋が炒め物や揚げ物に適した温度になった後は、火力を下げてください。

– 長時間調理するときは、調理する時間が終了する 5 ～ 10 分前に調理ゾーンの電源を切ってください。
これで余熱を利用できます。

– 圧力鍋を使用すると、調理時間を大幅に短縮できます。

タイマーを使用するには、本体の電源を入れておく必要があります。

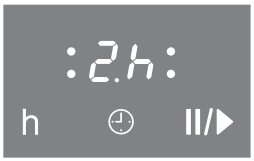
タイマーは 2 種類の機能に使用できます。

- キッチンタイマーの設定
- 自動スイッチオフ機能（調理ゾーンの電源を自動的に切るための設定）

時間は 1 分（01）～ 9 時間（9h）まで設定できます。

99 分までの時間は分単位で設定することができ、また表示されます。
例 :

99 分を超える時間を設定するには、タイマーを時間（h）単位で設定する必要があります。時間は 0.5 時間単位で設定できます。数字の後の点が 0.5 時間を表します。
例（2 時間 30 分）:



設定時間を過ぎると、タイマーのディスプレイに 00 と表示されます。同時にアラームが数秒間鳴ります。

タイマー

キッチンタイマー

キッチンタイマーを設定するには

分

例 :15 分に設定する場合

- 本体の電源を入れます。
- ◷ センサーを押します。

タイマーの表示部に 00 と表示されます。右側の 0 が点滅します。

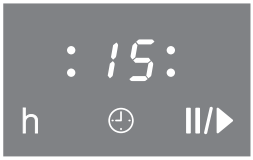
まず 10 の位を入力してから 1 の位を入力します。

- 10 の位に対応する数字キーパッド上の数字（この場合「1」）を押します。

タイマーの表示が変更され、1 が点滅し始めます。

- 1 の位に対応する数字キーパッド上の数字（この場合「5」）を押します。

タイマーの表示が変更されます。1 が左側へ移動し、5 が右側に表示されます。



キッチンタイマーのカウントダウンが開始します。

時間

時間は、数字キーパッド上で使用する数字を押して設定します。
0.5 時間は該当する 2 つの数字の間を押して設定します。
例 :2 時間 30 分に設定する場合

- 本体の電源を入れます。
- ◷ センサーを押します。

タイマーの表示部に 00 と表示されます。右側の 0 が点滅します。

- h センサーを押して、表示部に時間が表示されるように変更します。

- 数字キーパッド上で 2 と 3 の間の部分を押します。

数秒後、タイマーの表示部が点灯します。
キッチンタイマーのカウントダウンが開始します。

タイマー

キッチンタイマーを変更するには

- ◷ センサーを押します。
- 前述の方法で、時間を設定します。

キッチンタイマーを削除するには

- タイマーの表示部に 00 が表示されるまで、◷ センサーを押し続けます。

調理ゾーンの電源を自動的に切る

設定した時間に調理ゾーンの電源を自動的にオフにすることができます。
すべての調理ゾーンを同時にプログラムできます。

プログラムされた時間が有効な最大稼動時間より長い場合は、有効な最大稼動時間経過後に調理ゾーンの電源をオフにします（「スイッチオフ機能」を参照）。

- 使用する調理ゾーンの火力レベルを選択します。
- この調理ゾーンの表示ランプが点滅するまで、⏲ センサーを繰り返し押します。

複数の調理ゾーンの電源を入れると、表示ランプは左側手前から時計回りに点滅します。

- 必要な時間を設定します。

設定した時間は、1 分ずつカウントダウンされます。残り時間はタイマーの表示部に表示されます。時間はいつでも変更できます。

別の調理ゾーンの電源を自動的に切るように設定するには、上記の手順に従ってください。

複数のスイッチオフ時間が設定されている場合、短い方の残り時間が表示され、これに対応する表示ランプが点滅します。その他の表示ランプはすべて点灯したままの状態になります。別の調理ゾーンの残り時間を確認するには、その調理ゾーンの表示ランプが点滅するまで、⏲ センサーを繰り返し押します。

タイマー

両方のタイマー機能を同時に使用する

キッチンタイマー機能と自動スイッチオフ機能を同時に使用することができます。

自動スイッチオフ時間を 1 つ以上プログラムしていて、さらに**キッチンタイマーも使用する**場合 :
プログラムした調理ゾーンの表示ランプが点灯し、タイマーの表示部に 00 と表示されるまで、繰り返し ⏲ センサーを押します。

キッチンタイマーを使用していて、さらに**自動スイッチオフ時間を 1 つ以上プログラムする**場合 :
使用する調理ゾーンの表示ランプが点滅するまで、⏲ センサーを繰り返し押します。

最後に入力した後すぐに、タイマー表示が残り時間が短い方の機能に切り替わります。
バックグラウンドでカウントダウンされる残り時間を表示するには、以下の間、繰り返し ⏲ センサーを押します。
– 調理ゾーンの表示ランプが点滅するまで（自動スイッチオフ）
– タイマーの表示部だけが点滅するまで（キッチンタイマー）

表示される残り時間が最も短いものから始まり、オンになっているすべての調理ゾーンとキッチンタイマーが時計回りに選択されます。

セーフティロック / システムロック

安全のため、お子様が本製品に近づかないようにしてください。

本製品はセーフティロックを備えており、本体や調理ゾーンの電源を入れたり、設定を変えたりできないようにしてあります。

セーフティロックは、本体の電源を入れた状態で設定します。有効な場合：

- 調理ゾーンの火力レベルおよびタイマーの設定は変更できません。
- 調理ゾーン、本体、およびタイマーの電源を切ることはできますが、一度電源を切ると再び電源を入れることはできません。

システムロックは、本体の電源を切った状態で設定します。有効な場合、本体の電源が入らず、タイマーも使用できません。

工場出荷時設定では、システムロックは手動で有効にするようになっています。自動でシステムロックを有効にすることもできます。その場合、手動でシステムロックを設定しない限り、本体の電源が切られてから 5 分後にシステムロックが自動的に有効になります(**「プログラミング」**を参照)。

セーフティロックまたはシステムロックが有効なときに、使用できないセンサーを押すと、セーフティロックの表示ランプが点灯して、タイマーの表示部に数秒間 LC と表示されます。

停電が発生した場合、セーフティロックおよびシステムロックは無効になります。

安全機能

システムロックを有効にする

■ 該当する表示ランプが点灯するまで、センサーを押します。

しばらくすると、表示ランプが消えます。

1 本の指での操作から 3 本の指での操作に変更して、お子様が本製品を操作しにくいように設定を変更することができます（**「プログラミング」**を参照）。

システムロックを解除する

■ 表示ランプが消えるまで、センサーを押します。

Stop & Go 機能

本製品には Stop & Go 機能が備わっており、この機能が有効な場合、使用中のすべての調理ゾーンの火力が火力レベル 1 まで低下します。Stop & Go 機能を有効にした場合、調理ゾーンの火力レベルとタイマーの設定は変更できず、本体の電源のみオフにすることができます。

Stop & Go 機能を無効にした場合、調理ゾーンは最後に設定された火力レベルで再稼動します。
Stop & Go 機能を無効にしない場合、本体の電源は 1 時間後にオフになります。

Stop & Go 機能が有効な場合：
- 自動電源オフについてプログラムした時間のカウントダウンが中断します。この機能を無効にすると、タイマーは引き続き実行されます。
- キッチンタイマーは中断されることなく継続されます。

有効にする

■ II/▶ センサーを押します。

使用中の調理ゾーンの火力が火力レベル 1 まで低下します。

無効にする

■ II/▶ センサーを押します。

調理ゾーンは、以前に設定した火力レベルで再稼動します。

安全機能

スイッチオフ機能

センサースイッチ誤作動防止機能

指先が触れたり、煮こぼれしたり、オーブングローブやふきんなどで 1 つ以上のセンサースイッチが覆われた状態で 13 秒以上経過すると、自動的に本体の電源が切れます。
タイマーの表示部で F が点滅します。

- 操作部をきれいにし、障害となっているものを取り除いてください。

F が消えて、本体が使用できるようになります。

超過調理時間での切り忘れ防止

調理ゾーンのいずれかが異常に長い時間火力レベルは変更されずに加熱されると（表を参照）、自動的に本体の電源が切れて、対応する余熱表示ランプが点灯します。

再び調理ゾーンを使用するには、通常の方法で電源を入れ直してください。

出荷時、本製品には安全レベル 0 が標準でプログラムされています。必要に応じて、最長運転時間を短くすることで、安全レベルを高めることができます（表を参照）。

火力レベル *	最長運転時間（時間）		
	安全レベル 0* h : 分	安全レベル 1 h : 分	安全レベル 2 h : 分
1	10:00	8:00	5:00
1.	10:00	7:00	4:00
2 / 2.	5:00	4:00	3:00
3 / 3.	5:00	3:30	2:00
4 / 4.	4:00	2:00	1:30
5 / 5.	3:00	1:30	1:00
6 / 6.	2:00	1:00	0:30
7 / 7.	2:00	0:42	0:24
8	2:00	0:30	0:20
8.	2:00	0:30	0:18
9	1:00	0:24	0:10

* 工場出荷時設定

** 数字の後ろに点がある連続調理火力レベルは、火力レベルの範囲が拡張した場合のみ利用可能です（「プログラミング」を参照）。

安全機能

過熱防止 / 鍋保護機能

各調理ゾーンには過熱防止機能（内部温度リミッター）が装備されています。

高速調理ゾーン（エクストラスピード）には鍋保護機能も付いています。有効にするには、設定の変更が必要になります（**「プログラミング」**の**「予熱」**を参照）。

火力レベルが最高になっていてもヒーターのスイッチがオン/オフするのは、過熱防止装置が作動しているからです。

鍋保護機能が働くと、調理ゾーンのヒーターがオフになります。表示部に 9 と 0 が交互に表示されます。

■ 使用する調理ゾーンを選択するためのセンサーを押します。

表示が変わり、0 だけが点滅します。これで本体を使えるようになります。

過熱が起きる原因として以下が考えられます。

– 調理ゾーンに何も乗せないでスイッチを入れた。

– 鍋を空だきしている。

– 鍋底が調理ゾーンにぴったり合っていない。

– 鍋の熱伝導が悪い。

ミーレ製の掃除とお手入れ用製品については、**「オプションの付属品」**を参照してください。

> ⚠ 本製品を掃除するときは、スチームクリーナーは絶対に使用しないでください。蒸気が電気部品に達してショートする原因になることがあります。

本製品は、毎回使用後に掃除してください。室温まで冷ましてから掃除してください。
水跡、カルキ付着を防ぐには、水洗いした表面を柔らかい布で拭き取ってください。

本製品表面の損傷を防ぐため、以下のものは使用しないでください。

- 食器用洗剤
- 酸化ナトリウム、アルカリ、アンモニア、酸、または塩化物を含むクリーナー
- カルキ除去剤を含むクリーナー
- 汚れまたはサビ落とし
- 粉またはクリーム状の研磨剤
- 溶剤を含むクリーナー
- 食器洗い機用クリーナー
- オーブン・グリル用クリーナー
- ガラス用クリーナー
- ポット用のたわしのような硬いブラシやスポンジ、研磨剤をつけて使ったことのあるブラシやスポンジなど
- メラミン製の水周り用スポンジ
- セラミックガラスの表面と周りのフレームとの間や、フレームと天板との間のシールを破損するような、先の尖ったもの

掃除とお手入れ

セラミック面を掃除する際は、食器用洗剤を使用しないでください。食器用洗剤ではすべての汚れや付着物を取り除くことはできません。食器用洗剤を使うと目に見えないコーティングが形成され、セラミック面の変色の原因になります。
本製品は、適切な専用クリーナーで定期的にお手入れしてください。

湿った布で表面の汚れを拭き取ってください。がんこな汚れは傷の付かないスクレーパー（付属品）で落とす必要があります。

それから、キッチンペーパーやふきんなどで、セラミックガラスの表面用クリーナーで本体をきれいにします。本体がまだ熱いうちはクリーナーを使用しないでください。染みになる恐れがあります。クリーナーのメーカーの指示に従ってください。

最後に、湿った布で本体表面を拭き取ってから、きれいな柔らかい布で乾かします。クリーナーの跡は確実に落としてください。本製品にクリーナーが残っていると、次に使用する際にセラミックガラスの表面を損傷することがあります。

カルキ、水道水やアルミニウムの残留物により生じる**染み**（金属の付着した染み）は、ミーレ製のセラミックガラスの表面用クリーナーで落とすことができます。

調理ゾーン使用中に、熱くなっている調理ゾーンへ**砂糖、プラスチックまたはアルミホイル**を落とした場合は、まず本製品の電源を切ってください。本体に残った砂糖、プラスチック、またはアルミニウムは、本体がまだ熱いうちに、傷の付かないスクレーパーで注意しながらこすり落としてください。やけどをしないように注意してください。
本製品が冷めてから、前述の方法で掃除してください。

プログラミングオプションのデフォルト設定を変更できます（表を参照）。複数の設定を連続して変更できます。

プログラミングモードを選択すると、P（プログラム）と S（ステータス）がタイマーの表示部に表れます。調理ゾーンを 3 つ備えた本体では、その他の表示は左後方に表れます。

プログラムは、左手前と左後方にある調理ゾーン表示に表れます。例:
プログラム 03 = 左手前が 0、左後方が 3
プログラム 14 = 左手前が 1、左後方が 4

右手前にある調理ゾーン表示部に、ステータスが表示されます。

プログラミングモードを選択するには

- 本体の電源が切れている状態で、セーフティロックの表示ランプが点滅するまで ⏻ および 🔒 のセンサーを**同時に**押します。

プログラムを設定するには

- **1 の位**を設定するには、まず**左後方**の調理ゾーンを選択するセンサーを押してから、数字キーパッド上で使用する数字を押します。
- **10 の位置**を設定するには、まず**左手前**の調理ゾーンを選択するセンサーを押してから、数字キーパッド上で使用する数字を押します。

ステータスを設定するには

- **右手前**の調理ゾーンを選択するセンサーを押してから、数字キーパッド上で使用する数字を押します。

設定を保存するには

- すべての表示が消えるまで、⏻ センサーを押します。

設定を保存しないときは

- すべての表示が消えるまで、🔒 センサーを押します。

プログラミング

プログラム *		ステータス **		設定
P 00	デモモードおよび工場出荷時のデフォルト設定	S	0	デモモード On
		S	**1**	デモモード Off
		S	9	工場出荷時のデフォルト設定に復旧
P 01	Stop & Go 機能	S	0	オフ
		S	**1**	オン
P 02	火力レベルの範囲	**S**	**0**	9 段階の火力レベル（1、2、3 ～ 9 まで）
		S	1	17 段階の火力レベル（1、1.、2、2.、3 ～ 9 まで） 自動加熱設定が選択されている場合、火力設定を表示しながら、A を交互に点滅表示
P 3	鍋保護機能	**S**	**0**	オフ
		S	1	高感度でない
		S	2	標準
		S	3	高感度
P 04	センサーを押すとキーパッドから音が鳴る	S	0	オン / オフのキーパッド音 ① 以外はオフ
		S	1	小
		S	**2**	中
		S	3	大
P 05	タイマーのアラーム音	S	0	オフ
		S	1	アラーム音（小）（10 秒間）
		S	**2**	アラーム音（中）（10 秒間）
		S	3	アラーム音（大）（10 秒間）

* ここに表示されていないプログラム / ステータス番号には割り当てがありません。

** 工場出荷時のデフォルト設定は太字で示しています。

プログラム *		ステータス **		設定
P 06	セーフティロック	**S**	**0**	1 本の指で 🔒 を押してロック
		S	1	3 本の指で 🔒 と右側の調理ゾーンを選択するセンサーを同時に押してロック
P 07	システムロック	**S**	**0**	手動でシステムロックを有効にする
		S	1	自動でシステムロックを有効にする
P 08	最長運転時間	**S**	**0**	安全レベル 0
		S	1	安全レベル 1
		S	2	安全レベル 2
P 11	左手前の調理ゾーンの外側のサークル	**S**	**0**	同時にオンにならない
		S	1	いつでも同時にオン
P 12	右手前の調理ゾーンの外側のサークル	**S**	**0**	同時にオンにならない
		S	1	いつでも同時にオン
P 13	右後方の調理ゾーンの外側のサークル			
	ダブルサークルゾーン	S	0	同時にオンにならない
		S	**1**	いつでも同時にオン
	拡張調理ゾーン	**S**	**0**	同時にオンにならない
		S	1	いつでも同時にオン
P 15	センサーが覆われている場合のアラーム	**S**	**0**	オフ
		S	1	オン
P 16	センサーの反応速度	S	0	遅い
		S	**1**	標準
		S	2	速い

* ここに表示されていないプログラム / ステータス番号には割り当てがありません。

** 工場出荷時のデフォルト設定は太字で示しています。

こんなとき、どうしたらいい？

ここでは、弊社コールセンターにお問い合わせいただく前に、軽度のトラブル（誤った操作によるものを含む）を解決するためのヒントを説明します。

トラブルの原因や解決方法を把握するためにこのガイドを使用してください。
ただし、以下の点に注意してください。

⚠ 電気機器の修理は、必ずお住まいの地域および国の電気設備基準に従って、有資格者が行わなければなりません。無資格者による修理などは危険です。正規の修理技術者以外による作業によって生じた損害は、保証対象外となります。

問題	考えられる原因	対応策
本体や調理ゾーンの電源が入らない。	ブレーカーが落ちています。	電気のブレーカーをリセットしてください。
	技術的な障害が発生している可能性があります。	以下のいずれかの方法で、1分程度、本製品から電源を遮断してください。以下の手順を実行します。 – コンセントからプラグを抜く – ブレーカーを落とします。 電源のブレーカーをリセットし、本製品の電源を入れます。それでも電源が入らないようであれば、電気の有資格者または弊社コールセンターにご連絡ください。

問題	考えられる原因	対応策
本体の電源をオンにすると、数秒間タイマーの表示部に *LC* と表示される。	システムロックが有効になっています。	システムロックを無効にしてください（「セーフティロック / システムロック」を参照）。
本体の電源がオンになると、数秒間タイマーの表示部に *dE* と表示される。 調理ゾーンが加熱されない。	デモモードで稼動しています。	デモモードを無効にしてください（「プログラミング」を参照）。
使用中に本体の電源が切れる。	調理ゾーンの1つが長時間オンになっている可能性があります。	調理ゾーンの電源を入れ直せば、再度調理ゾーンを使用できます（「スイッチオフ機能」を参照）。
調理ゾーンの1つのヒーターのスイッチが切れたり入ったりする。	火力レベル 1 ～ 8: これは故障ではありません。	これは正常であり、温度をコントロールするための機能によるものです（「調理ゾーンの機能」を参照）。
	火力レベルが 9: 過熱防止機能が作動しています。	セラミックガラスの過熱を防ぐために、過熱防止装置によって調理ゾーンのヒーターが自動的にオフになります。セラミックガラスの表面が冷えて安全なレベルまで下がると、ヒーターは自動的に加熱を再開します（「過熱防止機能」を参照）。

こんなとき、どうしたらいい？

問題	考えられる原因	対応策
調理ゾーン表示部で 9 と 0 が交互に点滅する。	過熱防止機能が作動しています。	「過熱防止機能」を参照してください。
使用中に本体の電源が切れ、タイマーの表示部で F が点滅する。	指先が触れたり、煮こぼれしたり、オーブングローブなどで1つ以上のセンサーが覆われています。	操作部をきれいにし、障害となっているものを取り除いてください（「スイッチオフ機能」を参照）。
自動加熱機能がオンになると、鍋の中身があまり加熱されない、またはまったく加熱されない。	鍋の中身が多すぎます。	最高の火力レベルで調理を開始して、後から手動で火力レベルを弱めてください。
	鍋の熱伝導が悪い可能性があります。	
余熱表示ランプが1つ以上点滅する。	操作中に電源が遮断されて、本体の電源が切れています。	再度、本体の電源を入れて使用できます。 食品の調理状態と、停電による影響の有無を確認してから、調理ゾーンの電源を入れ直してください。
	プログラミングモードが呼び出されている間、余熱表示ランプが点灯します。	表示ランプは、余熱の最大時間が経過するか、調理ゾーンが選択され有効になるまで点滅します。
鍋の中身が沸騰するまで時間がかかり過ぎる。		調理ゾーンの火力レベルをテストしてください（「火力レベルをテストするには」を参照）。

問題	考えられる原因	対応策
センサーの感度が良すぎるか、またはまったく反応しない。	センサーの感度レベルが変更されています。	本体に直射日光（太陽または人工の光源）が当たらないこと、および周辺が暗すぎないことを確認してください。 センサーまたは本体を覆うものがないことを確認してください。本体から鍋を下ろして、セラミックガラスの表面の汚れを拭き取ってください。 約 1 分間、本体の電源を停止します。 それでも問題が解決しない場合は、弊社コールセンターまでご連絡ください。
タイマーの表示部で数字と交互に *FE* が点滅する。	電子部品の故障です。	約 1 分間、本体の電源を停止します。 本製品を電源に接続し直した後も問題が生じる場合は、弊社コールセンターまでご連絡ください。

火力レベルをテストするには

一定量の水を沸騰させるのに必要な時間を計ることで、調理ゾーンの火力レベルをテストすることができます。

鍋（およびふた）は、ステンレス製またはほうろう加工でなければなりません。鍋の直径が調理ゾーンに合っていて、鍋の底が平らか多少へこんでいる必要があります。

- テストする調理ゾーンの直径とワット数を確認してください（**「各部の名称 - 調理ゾーン」**を参照）。
- 表に記載された指定量の水を鍋に入れます。水温はおよそ 20 ℃にします。
- 鍋にふたをして、調理ゾーンに置きます。
- 最も高い火力レベルで調理ゾーンの電源を入れます。
- 水が沸騰するまでにかかる時間を確認してください。

表で指定された時間内に水が沸騰すれば、調理ゾーンの火力レベルは正しいということになります。

以下の場合、時間が変化する可能性があります。
－ 電圧が低いか超過している場合
－ 冷たすぎる水を使用した場合
－ 使用した鍋が適切でない場合
－ 鍋にフタがされていない場合

調理ゾーンの直径（cm）	230V での消費電力（W）	水量（ℓ）	時間 *（分）
10.0	600	0.5	11.0
12.0	700 / 750	1.0	13.0
12.0	1200**	1.0	11.0
14.5	1000 / 1100	1.0	9.0
14.5	1200	1.0	8.5
14.5	1500**	1.0	7.0
17.0	1500	1.5	9.5
18.0	1700 / 1800	1.5	9.0
21.0	2000	2.0	10.5
21.0	2200 / 2300	2.0	10.5
21.0	2900**	2.0	8.0
23.0	2500	2.0	9.0
23.0	3200**	2.0	7.5
27.0	2700	3.0	13.0
27.0	3200	3.0	12.0
27.0	3400**	3.0	11.5

* 不十分な条件で行った場合の最大時間

** 高速調理ゾーン（エクストラスピード）

※ 上記データは 230V でのデータのため、日本仕様とは異なる場合がございます。

オプションのアクセサリー品

ミーレでは、本製品で使用できる便利な付属品を幅広くご用意しています。

これらの製品は、オンラインでご注文いただけます。

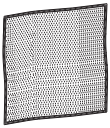
または、ミーレ販売代理店からもご購入いただけます（連絡先情報については裏表紙を参照）。

掃除用製品

セラミック・ステンレスクッカー用クリーナー（250 ml）

しつこい汚れ、水あか、アルミニウムの残留物などを除去します。

E クロス（マイクロファイバークロス）



指紋や軽い汚れを除去します。

電気工事は、必ず地域および国の電気設備基準に厳密に従って、適任な有資格者が行わなければなりません。

無資格者による設置および修理などは危険です。正規の修理技術者以外による作業によって生じた損害は、保証対象外となります。

電源コードが損傷した場合は、ミーレ販売代理店またはミーレ・ジャパンコールセンターへお問い合わせください。

本製品の設置または修理作業が完了したことを確認するまで、給電しないようにしてください。

本製品は、設置されていない状態では使用しないでください。これは、すべての電気部品が保護された状態でなければならないためです。帯電部を外部に曝さないでください。

延長コードを使用して本製品を主電源に接続しないでください。延長コードを使用すると、所定の安全性が確保できません。

ご使用になる主電源が、型式表示シールに記載された仕様に適合しているか確認してください。

地域および国の安全基準に従った適切な断路器を使用して接続を行ってください。また、本製品の設置後、電源スイッチに簡単に手が届くことを確認しておいてください。

必ず設置・施工手順書および電気設備技術基準に関連する法令・規制等に従って「法的有資格者」が行ってください。

警告
本製品は必ず接地してください。

アフターサービス、型式表示シール

自分では修理できない故障が生じた場合や、本製品が保証期間中の場合は、下記にお問い合わせください。

– ミーレ代理店または販売店

– ミーレ・ジャパンのコールセンター（所在地は裏表紙を参照）

サービス向上のためにお客様の電話はモニターして録音することがありますのでご了承ください。

コールセンターにお問い合わせになる場合、型式表示シールに記載された、ご使用の機器の型番と製造番号をお知らせください。

■ 修理受付および製品に関するご相談や使い方についてのお問い合わせは月～金（祝休）の 9:00 から 17:30 までとさせていただきます。

保証条件と保証期間

電気クッカーの保証期間は 2 年です。

保証条件の詳細は、保証書に記載されています。

メモ

メモ

メモ

愛情点検

長年ご使用の電気クッカーの点検を!

ご使用の際、
このようなことはありませんか

- ●電源コードやプラグが異常に熱い。
- ●運転が時々止まる。
- ●本体に触れると電気を感じる。
- ●焦げ臭いニオイがする。
- ●運転中に異常音や振動がある
- ●その他の異常や故障がある。

▼

● 使用を中止してください ●

このような場合、事故防止のため、スイッチを切りコンセントから差し込みプラグを抜いて、必ずお求めの販売店に点検・修理をご相談ください。ご自分での修理は危険な場合がありますから、絶対になさらないでください。

ご不明な点は下記までお問い合わせください。

ミーレ・ジャパン株式会社

コールセンター　0120-310-647 ユーザー専用・月ー金　9:00-17:30(通話料無料・祝日除く)
〒153-0063　東京都目黒区目黒2-10-11 目黒山手プレイス

www.miele.co.jp

M.-Nr. 09 235 750 / 01
ja-JP